



福島民報社伊達支社支社長浦山文夫さん

新聞印刷のいま

6月10日、町内で国見町広報等関係団体連絡会の研修会が行われました。研修には、広報に関する団体から約20人が集まり、講師に福島民報社伊達支社長の浦山文夫さんを迎え「新聞印刷の今」と題し講演をいただきました。研修では、印刷工場での新聞が発行されるまでの過程についての説明、また、震災時の対応についての有意義な話を聞くことが出来ました。



おいしいお茶っこだみんなニコニコ

お〜いお茶っご会 お茶を飲みながら、歌で心穏やかに

6月18日、上野台仮設住宅で伊藤園主催による「おいしいお茶の入れ方のコツ」ということでお茶会が開かれました。今回は、シンガーソングライターのRakeさんも同行し、入居者の皆さんと一緒に談笑を交えながらお茶を楽しみました。お茶を頂いた後は、Rakeさんが歌を披露し、入居者の皆さんはおいしいお茶と歌で癒されました。



驚きのマジックを披露する大友さん

驚きと歓声 マジックと音楽と絵本のコンサート

6月20日、ミュージシャンやマジシャンとして活躍している大友剛さんが、東日本大震災の復興支援として国見小学校とくにみ幼稚園で公演しました。1年生から3年生の児童、預かり保育園児が参加し、音楽とマジックを組み合わせた絵本の読み聞かせに歓声をあげていました。



歴史的まちなみを視察

町の魅力をまちづくりに！ 歴史まちづくり計画策定委員会が発足

6月23日、歴史を活かしたまちづくりを進めるため「歴史まちづくり計画」の策定委員会が設置しました。学識経験者・地元の関係者・行政機関からの委員16人に委嘱状が交付され、委員長に人間田宣夫東北大学名誉教授、副委員長に杉本洋文東海大学教授が選任されました。今後、調査および委員会での議論を踏まえながら、国の認定を目指していきます。



美味しいそば、抹茶ごちそうさまでした

そば・抹茶でみんなにここ ～埼玉県・しらおか蕎麦倶楽部～

6月29日、上野台仮設でしらおか蕎麦倶楽部のボランティアの皆さんが飯館村民に自慢のそばを振る舞いました。本格的な蕎麦打ちを見た村民は食い入るように見入っていました。そばのほか、抹茶と菓子も振る舞われ、美味しいお蕎麦や抹茶に舌鼓。汗だくでそばを打ってくださった蕎麦倶楽部の皆さん、美味しい抹茶をたててくださった小島さんありがとうございました。まだ、きてくなんしょ。



久しぶりだない

みんなで たべっとうまいない

5月29日、観月台文化センターで国見町赤十字奉仕団主催の飯館村民とのお楽しみ会が行われました。お楽しみ会の料理は日赤奉仕団の方が前日から下ごしらえを行った、ちらし寿司、ちまきなどが振る舞われました。会食では、飯館村民のほか各仮設に入居されている方も参加され、「久しぶりだない」と話が弾んでいました。



今年も笑顔でがんばります！！

今年も くだもの王国ふくしまをアピール

6月2日、観月台文化センターを2014ミスピーチキャンペーンクルーの6人が来町しました。町では昨年も農産物の販売促進にお手伝いいただいた経過があり、今年も昨年以上に福島県、国見町の果物をアピールしてもらいたいと太田久雄町長からあいさつがあり、ミスピーチから全力でPRしますと力強いあいさつがありました。



水は大切な資源、みんな大切にね

限りある 水をみんなで大切にしましょう

6月2日、夕方5時からコープmart福島国見店とJR藤田駅前において、水道に対する理解と関心を深めるため、町職員がパンフレットとポケットティッシュを配りました。水道週間にあわせて、「おいしい水、大切な水」をPRしたものです。当日は「くにみもたん」も参加し、子どもたちに風船をプレゼントしました。



ごみひろい ころのなかも ごみひろい

ごみを拾うのは 日本にマナーを広げる第一歩

6月3日、観月台文化センターからJR藤田駅前まで福島たばこ販売協同組合（国見・桑折）12人が社会貢献として美化活動（ゴミ拾い）を行いました。このゴミ拾いは、年1回行われており、参加者の大津敏男さんは「以前よりはゴミの量が減った。マナーが守られるようになった」と話していました。



両町で活発な意見がだされました

委員活動について意見交換 会津坂下町民生児童委員が来町

6月10日、観月台文化センターに会津坂下町民生児童委員の皆さんが訪れ、国見町民生児童委員と研修会を開きました。研修会では、個人情報の取扱いが厳重となっている中で、地域の要支援者の情報をどのようにして把握しているかなど、委員として活動する中での課題を中心に意見交換を行い、互いの活動の参考としました。